

神戸マラソン 2023 の経済波及効果の推計について

神戸マラソン 2023 は、「感謝と友情」をテーマに、「する・みる・ささえる」が一体となった大会として、ランナー（20,360人）、沿道応援者（610,000人）、ボランティア（6,188人）をはじめ、すべての大会関係者が、“ありがとう”の気持ちを伝えあい、阪神・淡路大震災からの復旧・復興における経験と教訓、兵庫・神戸の魅力の国内外への発信に貢献しました。マラソンへの参加や応援活動には、移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴いました。本調査では、神戸マラソン 2023 及びマラソン EXPO 参加者の観光消費を主体とした兵庫県内及び神戸市内の経済波及効果について推計を行いました。

神戸マラソン 2023 の経済波及効果概要 （単位：億円、人）

項目	兵庫県	神戸市	備考
生産誘発額	79.1	58.7	経済効果(売上額の合計)
直接効果	54.1	36.6	最終需要額
第一次間接効果	14.7	13.0	原材料消費から誘発効果
第二次間接効果	10.2	9.1	民間消費支出による誘発効果
付加価値誘発額	42.9	32.0	(売上額－経費等)の合計
名目GDP	228,062	71,564	2022年度速報
名目GDP比(%)	0.02	0.04	
就業者誘発数	851	514	個人業主、雇用者等

(資料)兵庫県「平成27年兵庫県産業連関表」、神戸市「平成27年神戸市産業連関表」

兵庫県立大学地域経済指標研究会「地域別経済動向指標(市町内総生産速報)」（2023年12月推計）

- ・生産誘発額：売上額の合計で、生産をどれだけ誘発したかを示したもの
- ・付加価値誘発額：(売上額－経費等)の合計で、生産活動の成果を示したもの
- ・就業者誘発数：生産誘発額を就業者数(従業地ベース)に換算したもの

推計の前提として関連行事等の実績値や神戸マラソン 2023 大会に係る「参加者(ランナー)に関する調査」、「応援・観覧者の動向に関するアンケート調査」の観光消費単価等のデータを用いて最終需要額(県内直接効果 52.0 億円)を推計した。経済波及効果は「平成 27 年兵庫県産業連関表」、「平成 27 年神戸市産業連関表」を使用し、産業連関分析により兵庫県内及び神戸市内経済波及効果(直接効果及び第 1 次間接効果、第 2 次間接効果)を推計した。

※詳細は、資料「神戸マラソン 2023 の経済波及効果について」資料を参照してください。

【経済波及効果推計実施機関】

神戸マラソン 2023 経済波及効果研究会

兵庫県立大学 特任教授（同大学地域経済指標研究会） 芦谷 恒憲

神戸女子大学 教授（同大学地域経済指標研究会） 小沢 康英

関西写真工業株式会社 取締役 佐藤 大輔

内容照会先 兵庫県立大学地域経済指標研究会

産学連携・研究推進機構 特任教授、兵庫県企画部統計課 統計分析官

芦谷 恒憲 (TEL 078-362-4123 統計課、078-794-5142 県立大学)

※研究会関連 URL <https://ips-u-hyogo.jp/archives/242>

【この件全体に関する問い合わせ先】

神戸マラソン実行委員会事務局

電話：078-325-1430 FAX：078-321-0072

KOBE MARATHON